

NEWS RELEASE

新興国での健康診断サービス事業をさらに拡大
がん検診を中心とした健診センター「NURA（ニューラ）」をモンゴル国に展開
9月17日にウランバートルにオープン

2023年9月13日

富士フイルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）は、がん検診を中心とした健診センター「NURA（ニューラ）」をモンゴル国に展開します。

今回、インドで「NURA」3拠点を運営する当社子会社「FUJIFILM DKH LLP」とモンゴル国の複合企業「Tavan Bogd Group（タバンボグドグループ）」がテクノロジーパートナー契約を締結。本契約に基づき、「Tavan Bogd Group」が9月17日にモンゴル国のウランバートルに「NURA」をオープンします。

今後、当社は、新興国での健康診断（健診）サービス事業をさらに拡大し、がん・生活習慣病の早期発見に貢献していきます。尚、パートナー契約による「NURA」の開設は、今回が初めてです。



「NURA」新拠点の外観



「NURA」でのCT検査のイメージ

【健診センター「NURA」について】

当社は、2021年にベンガルール、2022年にグルグラム、2023年にはムンバイに「NURA」を開設し、インドで健診サービス事業を展開してきました。「NURA」では、当社が持つCT・マンモグラフィなどの医療機器や医師の診断を支援するAI技術を活用して、がん検診をはじめ生活習慣病検査サービスを提供。約120分という短時間で全ての検査が完了し、かつ健診終了後にその場で医師から健診結果に関する説明を、診断画像を見ながら分かりやすく受けられるという利便性から、「NURA」の利用者は既に約12,000人に上っています。

モンゴル国では、がんや虚血性心疾患などの生活習慣病が亡くなる原因の上位を占めています^{※1}。これらの病気は、早期に発見し、治療や保健指導などの対策を行うことにより死亡率や重症化リスクを抑制できますが、モンゴル国ではがん検診などの健診サービスが日本ほど普及しておらず、早期発見が難しい現状があります。

今回、当社は、1995年より写真事業で協業してきた複合企業「Tavan Bogd Group」とのパートナーシップのもと、モンゴル国で「NURA」の展開を開始します。これまでインドで蓄積してきた健診サービスのノウハウを「Tavan Bogd Group」に供与。同社とともに、モンゴル国で高品質な健診サービスを提供する環境を構築し、モンゴル国の医療の質向上に貢献していきます。また、モンゴル国での健診文化の定着を目指して、周辺地域の病院や企業に対して健診の重要性を伝える活動にも取り組んでいきます。

当社は、今後さらなるパートナー企業との連携も視野に入れながら、東南アジアや中東アフリカにも「NURA」を展開し、新興国での健診サービス事業のさらなる拡大を図っていきます。当社が持つ医療機器や医師の診断を支援するAI技術を活用した「NURA」の高品質な健診サービスをより多くの方々に届け、世界の医療の発展と人々の健康の維持増進に貢献していきます。

※1 WHO Web サイト “Global Health Estimates: Life expectancy and leading causes of death and disability” より。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<報道関係>

富士フイルムホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ TEL : 03-6271-2000

<その他>

富士フイルム株式会社 メディカルシステム事業部 TEL : 03-6447-5159